

広報 関川

No.756

2024年(令和6年)

4.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

証書授与式



新たな目標に向かって 前へ!!

関川中学校で卒業式

令和6年度

施政方針説明

3月7日、村議会定例会議の初日に行われた令和6年度の施政方針説明で、加藤弘村長が村政運営の基本方針と主要事業について述べました。
ほぼ全文を掲載します。



関川村議会3月定例会議に際し、令和6年度の各会計予算案をはじめとした諸議案の審議をお願いするに当たり、村政運営に臨む所信の一端と施策の概要を述べ、議員各位並びに村民の皆様にご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

〈能登半島地震と水害対策〉

今年度は年明け早々に能登半島地震が発生し、多くの尊い生命や財産が一瞬のうちに失われてしまいました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早く日常が取り戻せるようご祈念申し上げます。

当村では、一昨年8月、記録的な豪雨に見舞われ、荒川流域を中心に甚大な被害が発生しました。これまで、広範囲にわたり被害を被った道路や河川、農地、農業用施設などの復旧に向けて全力で取り組んでまいりました。新年度は、甚大な被害のあった河川や、河川等との調整で遅れていた農地など、復旧途上の箇所の復旧に注力し、復旧事業に区切りをつけるとともに、今後の水害発生も念頭に置きながら、新たな治水対策にも取り組んでまいります。

特に甚大な被害を受けた高田・湯沢地区においては、国、県と連携を図りながら、土砂災害対策、浸水被害の軽減対策に取り組んでいく必要があります。村としては、引き続き地域の皆さんの声を聞きながら、防災対策を進めてまいります。

〈米坂線〉

米坂線の復旧については、新潟・山形両県及び沿線の被災市町村が米坂線復旧の課題などを話し合う検討会議を開催しているところです。

JRからは鉄道での復旧に厳しい認識が示されていますが、村としては、広域交通ネットワークとして、また、高校生等の通学手段としての重要性から、県及び沿線市町村と連携し、JR

に対し鉄道の早期復旧を引き続き強く訴えてまいります。また、鉄道の代替バスの運行につきましても、利用しやすいダイヤとなるよう働きかけてまいります。

〈物価高対策〉

さて、世界に目を向けますとロシアのウクライナ侵略に加え、中東での紛争が勃発するなど、不安定な世界情勢のもと、世界経済にも様々な影響が出ております。村でも、こうした世界情勢や円安の影響によって、光熱水費や食料品の値上げなど、物価高騰が収まらない状況にあります。村では、これまで暮らし応援商品券の発行や事業者支援などを行ってきたところで、今後もこれらの動向に注視しながら、必要な施策を行ってまいります。

〈人口減対策〉

人口減少問題は、依然厳しい状況が続いています。昨年暮れに厚労省の研究機関が2050年の将来人口を発表しました。全国では、東京都以外の全道府県で人口が減少し、新潟県においては3割の減、当村においてはおよそ半減し、2050年には2,300人になることが見込まれるという厳しい予想が発表されました。

東京への一極集中がなお続いています。村としては人口減少社会に正面から向き合い、村の将来像をイメージしながら、そのための方策を着実に講じ、若い世代から支持される将来に希望の持てる村づくりを実践してまいります。

〈脱炭素〉

関川村の豊富な自然や資源を活用し、地域活

性化を図るためとして取り組んでおります。脱炭素事業については、昨年、脱炭素事業の根幹を担うことを目的に「せきかわふるさとエネルギー株式会社」を設立させたところです。新年度は本格的に事業に着手し、村では、自営線マイクログリッドの構築、公共施設の省エネ設計、工事を進め、ふるさとエネルギーでは、再生可能エネルギーの電源開発を中心に事業を進めることとしています。

地球温暖化を起因とする気候変動の影響は当村にも及んでおり、今後ますます深刻化しております。そこで、村といたしましては、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを宣言し、国内での脱炭素の先導的な役割を担うとともに、地域経済の活性化につながる事業を行ってまいります。

それでは、令和6年度の主な取り組み方向につきまして、第6次総合計画の区分に沿ってご説明します。

《《住みよい暮らしのために》》 《防災力の強化》》

はじめに、住みよい暮らしのための取り組みです。

まずは、防災力の強化についてです。近年、全国で災害が多発しており、日頃からの備えの重要性を改めて感じているところです。

自分の命は自分で守るという意識を村民一人ひとりが持つて、災害に備えることが重要です。そのため、これまで隔年で実施していた防災訓練を毎年継続的に実施することとし、避難行動などを確認する機会とします。

更新時期を迎えている防災無線につきましては、今般策定の防災無線基本構想に基づき、タブレット型の端末を全戸配布に向けて準備を進めています。これからは、デジタルを活かして、音声だけではなく文字での広報・伝達ができるように環境を整え、将来的には防災面だけでなく、健康施策などでの利用も視野に入れ、親しみやすいタブレット端末となるよう取り組みを進めます。

なお、財源措置につきましては、具体的な事業予算が算定され次第予算化することとし、民間資金の活用や有利な財源措置に努めてまいります。

《交通対策》

次に、交通対策についてですが、JR米坂線につきましては、今ほどご説明したとおりです。

路線バスの運行につきましては、一般住民利用と小中学生の通学用の両面からダイヤを編成しています。効率的な運行となるようバス運行会社と調整を図ります。

デマンドタクシー「えぶり号」の運行につきましては、坂町便の増便によって利便性を高めるとともに、引き続き親しまれる運行を目指します。

《道の駅「関川」》

次に、道の駅についてです。

令和元年度に着手した一連のリニューアル工事は終了しました。昨年夏に完成した大型遊具は、大勢の家族連れで賑わいをみせています。

道の駅「関川」は、温泉施設のほか、運動施設や文化財などが隣接する他に類のない恵まれ



た立地環境にあります。さらに村の賑わいの拠点となるよう工夫をこらしてまいります。

懸案となっていた飲食ブース機能については、物産館で関川村産のそばの販

売を始めることとしました。検討を進めていた道の駅へのコンビニ誘致については、立地場所が狭いこともあり、道の駅利用者が急増している状況を踏まえ、改めてアチエーロの再利用や解体後の提案を事業者及び村民等を対象に意見聴取、公募を行っているところです。

《《地域を担う》》 《産業の振興のために》》

次に、地域を担う産業の振興のための取り組みです。

はじめに、村の基幹産業である農業についてです。

一昨年8月の豪雨災害で被災した農地、農業用施設は、昨年度の復旧作業によって概ね復旧し、営農活動への影響を極力抑えることができ



ました。残りの復旧工事を早期に終わらせ、安定した営農活動を推進していきたいと考えています。現在進められている女川地区ほ場整備事業や新堀用水路改修事業

の早期完成、更に鮎谷、大島沢田地区の新規ほ場整備事業などについても土地改良区と連携し、効率的な農業生産基盤の整備に取り組みでまいります。

また、水稲栽培における中干し期間延長の取り組みを進め、環境に配慮した水稲栽培の確立と、さらに関川産米の新たな付加価値の創出について、実証的に取り組みたいと考えているところです。

〈有害鳥獣対策〉

次に、有害鳥獣対策についてです。

昨年は、ブナなどの堅果類が凶作で、クマの出没が全国的に多く発生しました。村内でも9月に下関市内の人家にクマが籠城するなど、人身被害に直結しかねない状況となりました。

また、サルによる農作物被害やイノシシによる農地の掘り起こしの増加、更にシカが目撃情

報も増えています。引き続き、電気柵設置などを促進するとともに、猟友会をはじめ関係機関、民間企業とも連携して農作物被害の減少と有害鳥獣を集落に寄せ付けない取り組みを継続してまいります。

〈林業の振興〉

次に、林業振興についてです。

一昨年の8月豪雨災害で被災した林道の復旧工事も順次進めており、全路線の早期復旧に努めてまいります。

また、昨年策定した村の森林経営計画に基づき、村が事業主体となつて森林林業の施策に取り組むとともに、森林林業分野におけるJーケレジット制度への取り組みを進めるほか、森林環境譲与税などの財源を有効に活用し、林業振興施策の拡大・脱炭素の推進に努めてまいります。

〈観光の振興〉

次に、観光振興についてです。

長らく続いた新型コロナウイルス感染症拡大による旅行消費の低迷は、極めて深刻な影響を受けており、観光需要の喚起対策を継続的に行ってきたところです。

これからは、アフターコロナの中で、持続可能な観光地づくりを実現していく必要があります。そこで、村として初めてとなる「観光振興計画」を策定し、計画に基づく観光振興に取り組んでまいります。

具体的には、これまで地域や団体が行っているさまざまなイベントを観光資源としてとらえ、相互に連携を図るとともに、村民の皆さんと協

力し、知恵と工夫でブラッシュアップさせたいと考えています。また、SNSやデジタル技術を活用し、イベントの告知だけではなく、村の魅力についても幅広い層に向けて発信することで、観光のみならず交流人口の増加を図ってまいります。

〈商工業の振興〉

商工業の振興につきましては、引き続き商工会への運営補助を行い、事業者の持続的発展のための経営発達支援事業などを支援するとともに、コロナ禍からの経営回復に向けて、村内経済の活性化に取り組んでまいります。

また、村としても、新たに村内での起業や新分野への事業拡大への取組みを支援し、意欲のある方の挑戦を後押ししてまいります。

〈交流から定住へ促すために〉

〈都市との交流〉

次に、交流から定住へ促すための取り組みです。

都市との交流事業については、人口減少が進む中、地域活力の維持、地域経済の活性化のためには、交流人口、関係人口の拡大が極めて重要です。

これまで多くの団体や企業と交流を深めてまいりましたが、これを一過性の取組みとせず、村からの情報発信を継続させるとともに、進学や就職などで村から都市部へ出て行った若者にも働きかけることで、交流人口や関係人口の拡大、U・イターンの促進に努めます。

〈移住・定住施策〉

移住・定住施策についてです。
東京一極集中の流れは止まりませんが、一方で都市部から地方へ移住・定住する田園回帰の流れがあります。

村への移住者も少数ではありますが年々実績があります。なかには、村の活性化に寄与する起業の動きもあり、そういった取組の広がりに期待するとともに、起業の支援を積極的に行います。

空き家についてですが、空き家・空き地バンクへの登録者数や利用者数が少しずつ増えているものの、空き家の数はそれ以上に増え続け、村全体では10〜20%が空き家になっているのではないかと感じています。

移住者の住まいとして空き家を利用していただくことは、空き家の解消につながります。しかしながら、現状では空き家の把握が十分に追いつかず、移住者に紹介できる住宅は限られています。そのため、優良な空き家の掘り起こしを進め、空き家・空き地バンクの整備・利用促進や、新たに空き家マッチングツアーを実施することで、村への移住希望者に希望の住宅が行きわたるよう、取り組んでまいります。

〈切れ目のない

子育て支援のために〉

〈子育て家庭の応援〉

次に、切れ目のない子育て支援の取り組みです。

子育て世代につきましては、保育料の軽減や

食費の一部助成、医療費の負担軽減など、引き続き支援してまいります。

国では、児童手当の拡充など、さまざまな子育て対策を進める予定としており、村としてもそれらの対策に柔軟に対応していきたいと考えています。

また、引き続き、妊娠・出産・子育てに関し、きめ細かな相談に応じるとともに、新たに、1か月児健診や新生児聴覚検査に要する費用の助成、3歳児を対象にした検査機による視力検査を行い、乳幼児健（検）診の充実、子育て世帯の負担軽減を図ります。

〈保育園〉

保育園についてですが、村の出生数は、残念ながら減少傾向にあり、保育園施設の老朽化や保育士の確保という課題もあります。村では、より良い保育環境の実現を目指し、4月から下関保育園と大島保育園を統合し、新たに「関川なないろ保育園」としてスタートさせます。

この統合を機に、保護者負担軽減と衛生面への配慮の観点から、これまで家庭から持参していた紙おむつやおし



紙おむつやおしほり、3歳以上児のごはんも保育園で準備することとし、「手ぶらで通える保育園」をめざします。

〈みんなが

いきいきと暮らせるために〉

〈健康づくり〉

次に、みんながいきいきと暮らせるための取り組みです。

はじめに、健康づくりについてですが、誰もが気軽に運動に取り組める施設として健康増進施設「コラッシュエ」がオープンし2年が過ぎようとしておりますが、利用者数も年々増加しています。引き続き、利用者の皆さんが、気軽に、気持ちよく利用できる、満足度の高い施設運営を目指します。

また、コラッシュエでは、現役世代の体力増進や高齢者の介護予防のほか、慢性的な課題となっている小学生の肥満予防を目的とした運動教室などにも取り組んでいます。今後も同施設を活用して、総合的な健康対策を進めます。

そしてさらに、指導スタッフが施設内の指導にとどまらず様々な場所や活動へ積極的に出向くなど、地域・行政・関係団体が一体となった健康づくりを推進します。

〈検診・健診事業〉

特定健診やがん検診については、その受診率向上に努めており、休日健診（検診）の実施や、定期的な案内状の発信など、未受診者勧奨の取り組みを行ってまいりました。今後も、勧奨方法や受診体制を工夫し、受診率向上に努めます。

また、いきいきと生活するためには、体の健康だけでなく、心の健康も重要です。ストレスとの付き合い方や相談窓口の周知、気づきや

見守りができるゲートキーパーの養成などの取り組みを充実させます。

〈介護保険制度〉

介護保険事業についてですが、令和6年度から3年を期間とした「関川村高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」がスタートします。高齢者が住み慣れた地域で支え合い、自分らしく暮らし続けることを基本理念とした「地域包括ケアシステム」を推進してまいります。

次期の介護保険料は、高齢者人口の減少に加え、要介護者数の減少などによって、今期よりも低く抑えることができました。介護予防事業の効果と、村民の健康づくりに対する意識向上などの現れであると考えています。引き続き、介護予防の普及啓発に努めてまいります。

〈社会福祉協議会との連携〉

社会福祉協議会と連携した取り組みについてですが、村からの委託事業である重層的支援体制整備事業を本格始動させ、ひきこもりの相談や多機関協働の取り組みを加えるとともに、相談支援専門員による障がい者等の自立に向けた総合相談窓口の更なる充実を図ります。

また、令和4年8月豪雨の被災者支援として「地域ささえあいセンター」を運営していたですが、引き続き、定期訪問や見守り、困りごとの相談など、継続した支援を実施していただきます。

〈医療の確保〉

次に、医療の確保についてです。医療を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化

による人口構造の変化、医師の偏在による医師不足や医師・医療従事者の働き方改革、そして医療ニーズの変化など様々な課題を抱えています。

村では、新たに、県及び村上市と連携した「地域枠・医師養成修学資金貸与制度」による医師の確保に取り組みとともに、引き続き、関係自治体や医師会、病院などで構成される村上岩船医療懇談会や県立坂町病院活性化協議会において、持続可能な医療の確保ができるよう努めてまいります。

〈ふるさとを愛し、誇る心の育成〉

ふるさとを愛する取り組みについてですが、少子化が進む中、いかに若者が村に残るか、また戻ってくるかが大きな課題となっています。雇用の拡大や産業振興はもちろんです、次代を担う青少年のふるさとを愛し、誇りに思う心の育成や、村内の起業家などの志を学ぶことも重要です。

村の歴史や文化、産業、そして村で活躍している皆さんとの交流を図るため、引き続き、未来のハローワーク事業など教科以外の学びの場を提供します。

〈小・中学校〉

小・中学校においては、文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、1人1台の端末と、



校内高速通信ネットワークの環境を整え、授業で活用しています。また、毎日の家庭学習や臨時休業等におけるオンライン授業でも活用しており、今後も効果的な活用に努めてまいります。

特色ある教育として、小学校低学年に書道の授業を行っておりますが、中・高学年の書写授業への接続・連携と中学校への指導者の派遣等、小中一貫した取組に努めてまいります。

学校現場では、多様な教育的ニーズのある子供たちの学びを保障し、配慮を要する子供たちへの教育支援体制の充実が求められています。引き続き児童生徒の能力や特徴に合わせて、必要な教員助手や相談員の配置を行ってまいります。

〈生涯学習〉

生涯学習は、人が生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくことであり、さらには、学んだ人が主役となってまわりの人や次の世代に引き継いでいくことを基本理念としています。

村では、スポーツや文化、家庭教育分野など幅広く事業を展開しているところでありますが、引き続き事業評価を行うとともに、村民ニーズに耳を傾けながら新たな事業にも鋭意取り組んでまいります。

〈無駄のない

行財政の運営のために〉

〈職員の資質の向上〉

次に、無駄のない行財政の運営のための取り組みです。健全で安定的な行財政運営を行っていくため

には、職員の職務遂行能力、意欲の向上や組織力の向上が重要です。職員一人ひとりを大切にしつつ、研修への参加促進や人事評価など、職場が活性化する取組みを進めます。

また、村の将来を見据えて新たな施策の展開を図るとともに、職員の刺激になることを期待し、民間専門人材の受入れを継続します。

職員に対しては、村の10年後、20年後を具体的にイメージして施策を行ってほしいと呼びかけています。地域に根差した行政を行うため、村民の皆さんとの対話を大事にし、自ら考え、行動する職員、さらにこの地域を愛する心を忘れずに職務を全うする職員を望んでいるところです。

〈ふるさと納税〉

ふるさと納税につきましては、村の貴重な財源となることはもちろんのこと、返礼品などを通じて関川村と交流が始まる機会ともなります。このため、インターネットの納税サイトの窓口拡大や、村と関わり合いのある企業訪問を実施するなど、取組みを強化してまいりました。

寄附していただいた方々の思いを大切にし、寄附金を活用した施策の展開に鋭意取り組んでまいります。また、返礼品については、物産だけでなく、村での体験などをしていただくことにも着眼し、魅力ある返礼品の開拓に努めます。

〈老朽・遊休施設対策〉

老朽・遊休施設対策についてです。

上下水道施設については、人口減少が料金収入の減に直結し、事業会計の経営に大きな影響

を及ぼしています。施設の老朽化への対応という課題もあります。検討委員会において、その実状をご説明しながら、料金改定、施設の長寿命化等の議論を深めているところです。

遊休施設については、村民や民間企業から利用提案のある施設もありますので、工夫を凝らして施設の有効利用に努めます。また、老朽化によって利用の継続が難しい施設で緊急対応の必要があるものを優先に、むらづくり総合対策基金の活用など財源確保に努めながら施設の解体を含め、施設の整理・統合を図ってまいります。

過去に村が整備した光回線ケーブル網につきましては、維持管理経費が負担になってきたため民間事業者は無償譲渡し、村の経費抑制を図ることとしました。これからも施設の効果的な利用に努め、遊休施設や土地、初期の目的を達成した借地などの見直しを行います。

〈予算の編成方針〉

村の財政状況については、令和4年8月豪雨の災害復旧工事の財源として多額の村債を発行しており、令和7年度からその償還が本格的に始まります。そのため、当面、行財政運営を取り巻く環境は極めて厳しい状況が続きます。それに加え物価高の影響も顕著に表れており、経常収支比率が上昇し、年々硬直化が顕著となっています。

そのような中にあっても事業の選択と集中、事務事業の見直し、そして知恵と工夫をこらして、この難局を何とか乗り越えなければなりません。予算編成に当たりましては、災害復旧・復興事業を最優先としながらも、村の活性化

に必要な投資も行いつつ、無駄のない行財政運営に努めてまいります。

〈おわりに〉

関川村は、昭和29年8月1日に誕生し、歴史を重ね今年70周年を迎えます。これまで村勢発展に努力されてこられた先輩諸氏、そして現在も活躍されている大勢の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

これまでの歴史のなかで、豪雪、地震、洪水など未曾有の大災害に襲われ甚大な被害を被ってまいりましたが、村民のたゆみない努力によって困難を克服し、今日の発展をみることもできます。

近年は、少子高齢社会となり、だれもが経験したことのない時代が訪れています。だからこそ、持続可能なむらづくりを後世へ継承するため英知を結集し、この困難を乗り越えなければなりません。村民の皆さんお一人おひとりが安心して未来に希望を持って暮らせることができるよう、皆さんの先頭に立ち、あらゆる施策に取り組んでまいりたいと考えています。

村議会議員各位を始め、村民の皆さんのご理解ご協力をお願いし、令和6年度の施政方針説明とさせていただきます。



令和6年度 当初予算

災害復旧と防災事業の推進

脱炭素社会と切れ目のない子育て支援の実現



一般会計の予算総額は59億200万円。脱炭素事業への取組みが加速し、国からの補助金が増えるため昨年度より10億3,400万円増加しました。

令和4年8月豪雨災害の復旧事業に全力で取組むとともに、ハザードマップの拡充や消防団の無線機を新しくするなど、防災事業に力を注ぎます。また、新たにスタートする「関川なないろ保育園」へ手ぶらで通園できる取組みを導入するほか、結婚お祝い金、新生児等検査費用の助成、通学定期券購入費の助成、さらに高校卒業までの入院費一部負担の無償化など、子育て支援を充実させます。

■各会計の当初予算

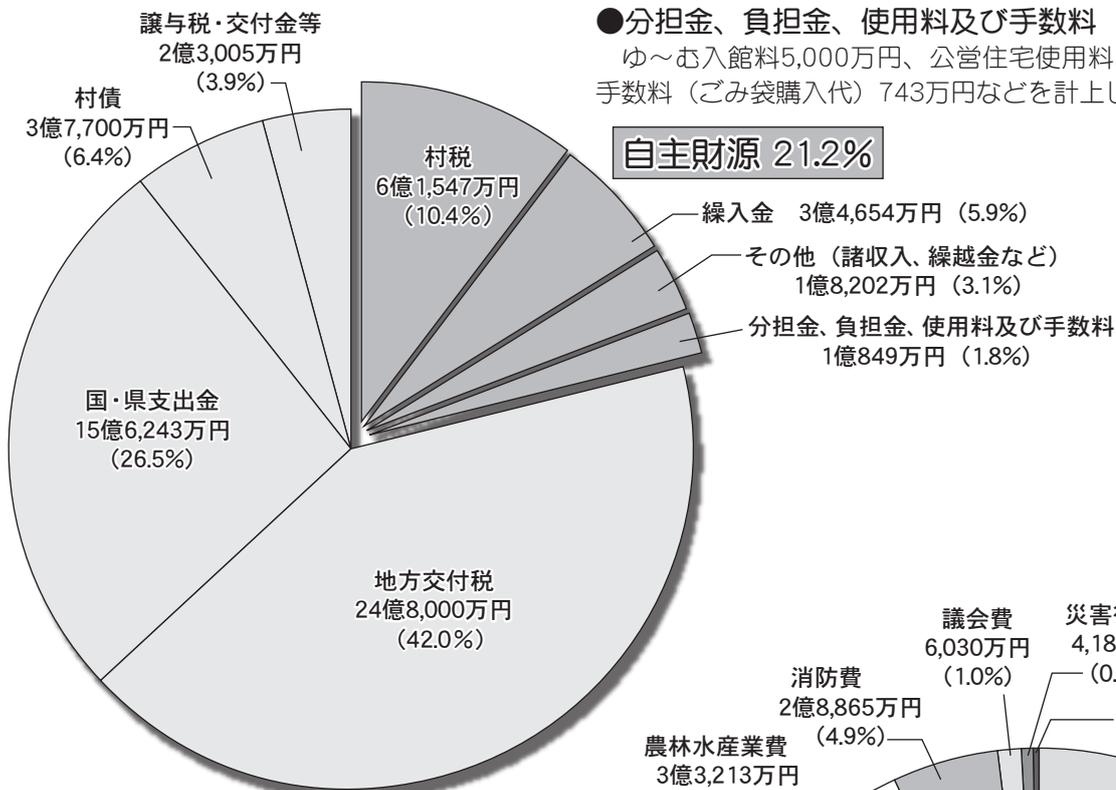
会計名		令和6年度予算	令和5年度予算	前年比	
				増減額	増減率
一般会計		59億 200万円	48億6,800万円	10億3,400万円	21.2%
特別会計	国民健康保険特別会計	6億4,260万円	6億7,370万円	▲3,110万円	▲4.6%
	国民健康保険関川診療所特別会計	9,700万円	9,810万円	▲110万円	▲1.1%
	介護保険事業特別会計	9億1,880万円	9億9,310万円	▲7,430万円	▲7.5%
	後期高齢者医療特別会計	8,050万円	7,350万円	700万円	9.5%
	宅地等造成特別会計	10万円	10万円	0万円	0.0%
	村有温泉特別会計	380万円	510万円	▲130万円	▲25.5%

下水道事業会計		令和6年度予算	令和5年度予算	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	3億6,569万円	3億8,525万円	▲1,956万円	▲5.1%
	支出	3億8,529万円	3億9,036万円	▲507万円	▲1.3%
資本的収支	収入	2億5,589万円	2億3,796万円	1,793万円	7.5%
	支出	3億4,690万円	3億3,980万円	710万円	2.1%

簡易水道事業会計		令和6年度予算	令和5年度予算	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	2億4,092万円	2億3,339万円	753万円	3.2%
	支出	1億8,455万円	1億9,136万円	▲681万円	▲3.6%
資本的収支	収入	2億 900万円	6,560万円	1億4,340万円	218.6%
	支出	2億9,680万円	1億5,773万円	1億3,907万円	88.2%

歳入 (一般会計)

59億200万円



依存財源 78.8%

●総務費

庁舎管理や広報せきかわの発行、地域振興、税金の徴収、住民票の発行などに使われます。

●民生費

保育園の運営や高齢者・障がい者などの福祉事業に使われます。

●土木費

橋りょう補修や消雪パイプ布設替、道路除雪、下水道事業会計への補助金などに使われます。

●公債費

起債償還 (借金返済) に使われます。

●村税

固定資産税は3億6,407万円、村民税は1億8,072万円、たばこ税は3,695万円、入湯税は1,150万円、軽自動車税は2,223万円を計上しています。

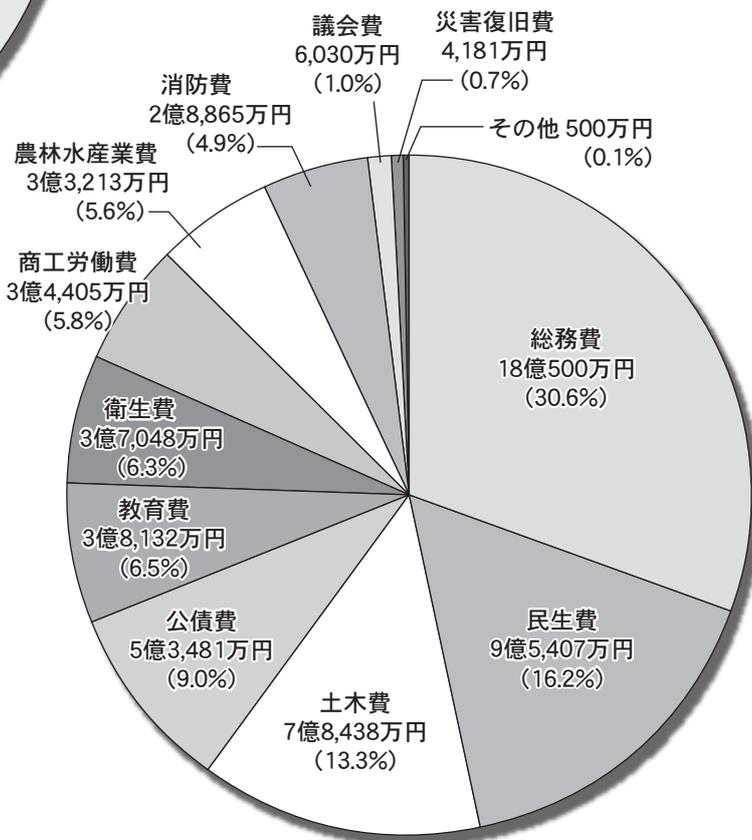
●繰入金

事業費の増と地方交付税の減収が見込まれるため、財政調整基金 (貯金) から1億7,900万円を取り崩すなど、財源不足を補います。

●分担金、負担金、使用料及び手数料

ゆ〜む入館料5,000万円、公営住宅使用料2,626万円、ごみ処理手数料 (ごみ袋購入代) 743万円などを計上しています。

自主財源 21.2%



歳出 (一般会計)

59億200万円

●豪雨災害からの復旧・防災への取り組み

○豪雨災害からの復旧

村に甚大な被害をもたらした令和4年8月豪雨からの災害復旧事業に取り組むため、農地農業用施設災害復旧事業費に2,150万円、林業施設災害復旧費に500万円、公共土木施設災害復旧費に1,530万円を計上。一刻も早い復旧を目指します。

○災害に強い村づくり

ハザードマップ作成事業に700万円を計上。令和4年8月豪雨を踏まえ、荒川支流の中小河川区域を対象としたものを作成します。あわせて、水防計画の改定のため210万円を計上しています。

防災啓発事業に270万円を計上。災害時のささえあいマップの作成や、防災フォーラムを行い、平時からの防災意識の育成に取り組みます。また、災害ささえあいセンター事業に670万円を計上し、災害時に備えた住民同士のささえあい活動を支援します。

●脱炭素社会の推進

○再生可能エネルギーの活用

村の施設に太陽光発電設備を設置するなど、再生可能エネルギーを活用して脱炭素事業を推進するため、事業を行う「せきかわふるさとエネルギー株式会社」への補助金として7億1,456万円を計上。この補助金は、国の脱炭素先行地域に選定されているため、全国から交付されるものです。

○電力の自給自足設備の整備と防災力の強化

役場と周辺の公共施設を結ぶ電力の自営線と蓄電池の整備のため、8,580万円を計上。災害時には再生可能エネルギーを活用して発電した電力を施設間で融通するため、停電を防ぐことができます。この事業は2か年度にまたがる事業のため、完成は令和7年度末になる予定です。

○公共施設の省エネルギー化

役場や村民会館などの公共施設の照明や空調を省エネルギー化するための事業費として、2億1,183万円を計上。使用する電気の量を減らすことで二酸化炭素の排出量を削減します。

●住みよい暮らしづくりのために

○安心安全な暮らしの確保

村上市へ委託している常備消防運営委託に2億3,798万円を計上し、火災や救急搬送等に対応します。また、消防団に携帯電話会社の電波を利用する無線機であるIP無線機を導入するため600万円を計上。従来の無線機では通信の難しかった山間部での活動を可能とします。

道路橋りょうの維持補修は、工事費として1億4,450万円を計上。国からの補助金を活用した鮎谷橋の補修工事を行うほか、老朽化の程度や安全性を考慮して工事を行います。

除雪関係の費用としては、消雪パイプの工事費に3,900万円、除雪経費に1億3,503万円、雪下ろし命綱固定アンカー設置費用助成に30万円、雪下ろし助成事業へ242万円を計上。冬季の安心安全を確保します。

○地域生活の充実

コミュニティ組織運営や地域での高齢者福祉事業への補助金として450万円、集落センターの施設改修やゴミステーションの更新への補助金に126万円を計上しています。

また、村民の生活環境の向上と地域経済活性化を促進するため、個人住宅等を村内の施工業者によってリフォームする事業への助成に1,000万円を計上しています。

○交通の確保

路線バスの運行費補助金に3,280万円、デマンド交通システムのための地域公共交通活性化協議会補助金に804万円を計上。公共交通機関を確保します。米坂線の早期復旧については、JRに対し強く要望を続けます。

○生活環境衛生の確保

ごみ収集委託に4,800万円、村上市へのごみ処理場運営費委託に5,573万円を計上。そのほか、村上市の旧ごみ処理場の解体経費の村負担分として2,697万円を計上しています。

汚水処理では、村上市へのし尿処理運営費委託に2,124万円、合併処理浄化槽設置補助金に480万円、下水道事業会計補助金に3億1,500万円を計上し、住民の衛生環境を確保します。

また、簡易水道事業会計補助金に7,000万円を計上し、安心安全な飲料水を供給します。

○関川村70周年事業の実施

令和6年度は関川村が発足して70周年を迎えます。400万円を計上し、演劇公演を計画しています。また、大したもん蛇まつりの際にも記念事業を行うために、大したもん蛇まつり実行委員会への補助金として前年度より130万円増額した740万円を計上しています。

●地域を担う産業の振興のために

○産業振興

水田活用補助金1,300万円を計上。大豆や非主食用米などの特定の作物を栽培販売するなど一定の条件を満たした生産者を支援します。農業における担い手支援、地域全体の農業振興を図るための経費として、多面的機能支援助交付金に7,900万円、中山間地域直接支払交付金に2,472万円を計上。県営土地改良事

業負担金には501万円を計上し、ほ場整備を進めます。

林業振興としては、森林の整備や搬出路の補強などを行う事業者への補助金として700万円、子どもたちが森林の体験活動を行う場として「学びの森」を整備する事業費に100万円計上。森林環境譲与税を財源にしながら、林業政策を促進します。

○魅力ある観光地づくり

道の駅関川は昨年度リニューアル工事が完成しました。新たに整備した大型遊具をはじめ、各施設に連日多くの人が訪れています。令和6年度はちぐら脇の旧トイレの解体工事に300万円を計上。そのほか、旧アチエーの跡地についても、より魅力的な道の駅となるよう土地・建物の利用の検討を進めます。

●交流から定住の促進

○人口減対策

空き家対策の補助金を460万円計上。空き家のリフォームや家財道具の撤去費用を助成します。また、新たに起業支援への補助金制度(上限50万円)を創設。村内での新たに起業する方を支援します。

移住支援事業に300万円を計上。子育て世代で県外から移住する世帯に対して、移住に係る費用を助成します。そのほか、結婚された方へ10万円を助成するほか、住宅賃貸料や引越費用などの補助金に200万円を計上。関川村への移住・定住を促進して、急速に進行する人口減への対策を行います。

●切れ目のない子育て支援のために

○保育園の統合と保護者支援

令和6年度から下関保育園と大島保育園を統合し、「関川なないろ保育園」として新たにスタートしました。保育園の統合にあわせ実施する「手ぶらで通園事

業」に155万円を計上。各家庭で準備していたおむつやお手拭きを村で購入するほか、3歳以上児のご飯も村で準備します。

そのほか、園児バス1台を更新するため、500万円を計上しています。

○子育て世帯の支援

また、子どもへの医療費助成に1,400万円を計上。通院時の医療費は1回530円、入院費の一部負担金は無料になるよう助成します。給食費の助成に220万円計上。子ども3人以上の多子世帯に対し、保育園副食費を含む給食費を助成します。通学定期券の購入費助成に350万円計上。高校生、大学生、専門学生等の通学定期券の購入額の3割を助成します。

●みんながいいきいきと暮らせる

環境づくりのために

○医療福祉の充実

新生児の聴覚検査費用と1カ月児健康診査費用の助成を新たに実施するため、20万円を計上。早期から身体発育状況を確認し、必要な支援へとつなげます。重層的支援体制整備事業に6,361万円を計上。

障害や不登校、引き込みりなど、多様な要因が合わさった複雑な問題に、村として対応できる体制を作り、どのような方でも安心して生活できる環境を整えます。休日や平日夜間の地域医療体制を確保するため、急患診療所(村上市)の運営委託に60万円、あらかわ病児保育センターの運営委託に120万円を計上しています。

○教育環境の充実

教員助手等の会計年度任用職員費用として3,436万円を計上。児童生徒が十分に学習できる体制を確保します。地域クラブ活動事業費に183万円を計上し、中学校部活動の地域移行を進めます。そのほか、外国

語指導業務委託561万円を計上しています。

○健康づくり・生涯学習

健康増進施設コラッシュエの事業費として1,213万円を計上。誰でも利用できる運動施設として、村民に親しまれる施設を目指します。社会教育施設の工事費として1,850万円を計上。老朽化している村民会館の音響設備の更新や、土沢ふれあい自然の家の外壁修繕などを行います。

く使途が決められている収入く

○地方消費税交付金

消費税引き上げ分の交付金は「社会保障施策に要する経費」に充てることとされており、当村では予算額1億2,500万円のうち、7,100万円を社会福祉総務費、老人福祉総務費、心身障害者福祉費、児童措置費、予防費、母子衛生費の経費に充てます。

○入湯税

入湯税は1,150万円計上しており、観光振興対策や消防施設整備の経費に充てます。

○電源立地地域対策交付金

発電所の設置自治体の活性化等を目的に国から交付されるもので、鷹の巣発電所(水力発電)が対象となつていきます。交付される440万円は保育園管理費に充てます。

令和6年度の主な事業内容をお知らせします

議会費 予算額 6,030万円

議員報酬費 3,618万円

総務費 予算額 18億500万円

① ハザードマップ作成委託料 700万円

① 水防計画作成委託料 210万円

① 70周年記念講演委託料 400万円

① 脱炭素先行地域づくり事業費補助金 7億1,456万円

① 工事請負費（脱炭素事業分） 1億8,991万円

① 自治体システム標準化設定委託料 6,271万円

① 地域運営仕組みづくり支援業務委託料 80万円

① 大したもん蛇まつり補助金 740万円

生活交通確保対策（路線バス）運行費補助金 3,280万円

空き家リフォーム補助金 400万円

通学定期券購入補助金 350万円

民生費 予算額 9億5,407万円

① 通園バス購入費 500万円

① 子ども・子育て支援計画策定委託料 50万円

① 重層的支援体制整備事業費 6,361万円

障がい児通所サービス扶助費 2,600万円

GOGO食堂事業補助金 43万円

社会福祉協議会補助金 1,552万円

国民健康保険特別会計繰出金 4,230万円

介護保険特別会計繰出金 1億5,053万円

児童手当給付費 4,674万円

保育園管理費 1億8,135万円

衛生費 予算額 3億7,048万円

① 新生児聴覚検査費補助金 12万円

① 大学（医学部）地域枠負担金 23万円

① 旧ごみ焼却施設解体等事業負担金 2,697万円

① ごみ収集委託料 4,800万円

簡易水道事業会計補助金 7,000万円

医療費助成給付費（少子対策） 1,400万円

出産・子育て応援交付金 200万円

ごみ処理運営費委託料 5,573万円

し尿処理運営費委託料 2,124万円

農林水産業費 予算額 3億3,213万円

① いわふね木育推進事業負担金 80万円

① 資源循環の森整備事業補助金 700万円

① 林道整備事業費 3,000万円

① 治山事業費 350万円

① 村農業DX推進協議会補助金 180万円

① エコシステム構築プロジェクト委託料 280万円

① 畜産振興費 3,356万円

中山間地域等直接支払交付金 2,472万円

有害鳥獣駆除対策事業費 446万円

多面的機能支払交付金 7,900万円

水田活用推進補助金 1,300万円

商工労働費 予算額 3億4,405万円

① 起業支援補助金 150万円

① 観光施設管理費（工事費） 830万円

関川村商工会補助金 500万円

観光施設管理委託料 7,804万円

ゆ〜む管理委託料 6,980万円

土木費 予算額 7億8,438万円

① トンネル長寿命化点検委託料 1,000万円

① 橋りょう長寿命化点検委託料 3,200万円

① 道路橋りょう維持費（工事費） 1億4,450万円

① 道路橋りょう整備費（消雪施設工事） 3,900万円

道路除雪対策費 1億3,503万円

集落除雪事業補助金 200万円

住宅改修事業補助金 1,000万円

下水道事業会計補助金 3億1,500万円

消防費 予算額 2億8,865万円

① 無線購入費（消防団活動費） 600万円

常備消防運営委託料 2億3,798万円

消防団員報酬 927万円

教育費 予算額 3億8,132万円

① 地域クラブ活動事業費 183万円

① 社会教育施設管理費（工事費） 1,850万円

会計年度任用職員報酬（教員助手等） 3,436万円

スクールバス運行事業費 2,173万円

せきかわ歴史とみちの館管理費 1,320万円

健康増進施設（コラッシュ）管理委託料 1,213万円

ふれあいど〜む管理委託料 999万円

公債費 予算額 5億3,481万円

元金償還金 5億2,070万円

利子償還金（一時借入金利子含む） 1,411万円

災害復旧費 予算額 4,181万円

災害復旧費（公共土木施設） 1,530万円

災害復旧費（農地農業用施設） 2,150万円

その他 予算額 500万円

予備費 500万円

「ゼロカーボンシティ」を宣言

脱炭素に向けた取り組みを進めます

関川村は、令和6年4月1日、2050年に二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指して「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

「ゼロカーボンシティ」は、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体のこと。令和5年12月28日時点で、全国で1013自治体（46都道府県、570市、22特別区、327町、48村）が「2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ」を表明しています。

府県、570市、22特別区、327町、48村）が「2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ」を表明しています。二酸化炭素実質排出ゼロとは、二酸化炭素をはじめとする

関川村ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素実質排出ゼロに向けて～

関川村は、新潟県の北東部に位置し、飯豊連峰や朝日連峰、楡形山脈に囲まれた盆地で、中央には清流荒川が流れている自然豊かな村です。荒川沿いには5つの温泉が湧き、「えちごせきかわ温泉郷」を形成しています。また、国の重要文化財「渡邊邸」をはじめとした18世紀の町並みが残り、生活の中に歴史がとけ込んでいます。

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発しています。当村においても、令和4年8月3日から4日にかけての記録的な集中豪雨により、浸水被害が発生するなど村民の暮らしに大きな影響を与えています。このまま温室効果ガスの増加が続けば、異常気象の増加や農産物の品質低下など、様々な悪影響を及ぼす恐れがあります。

そのため、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、脱炭素への取組を強化し、豊かな自然を次世代へ引き継いでいく必要があります。

そこで、当村の豊富な自然エネルギー資源を活用して脱炭素化に取り組み、地球温暖化対策を通じて地域課題の解決につなげていきます。

村民の暮らしを豊かにし、持続可能なむらづくりの実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。



令和6年4月1日

関川村長 加藤 弘

る温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味します。

まずは、太陽光発電や小型風力発電などの再生可能エネルギーを導入し、公共施設における、電力消費に伴うCO₂排出を抑制します。村内には手の行き届いていない森林もあるため、脱炭素の取組を通じて林業活性化も行っていきます。

村においては、農業が主たる産業であり、今後の農業活性化を考え、後継者対策や耕作放棄地対策として、農地を活用した太陽光発電設備の導入も行う計画です。さらに、公共施設の照明を消費電力の少ないLEDに替えること、また高効率空調に替えることで省エネ化を推進していきま

す。村は令和4年11月に脱炭素先行地域に選定され、令和6年3月に関川村地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を策定しました。これからこの計画に基づいて脱炭素の取組を進めていきます。今後は事業を進めるだけで

なく、暮らしの中で出来る脱炭素の情報提供なども行っていく予定です。

具体的な取り組み状況については、広報せきかわ誌面や関川村ゼロカーボンWEBサイト「未来を守り、豊かな暮らしをつくる、関川村の脱炭素アクション」で随時紹介していきます。

村民の皆さまと一緒に脱炭素を通じた村づくりを行っていきたくと考えています。

これまで地域政策課の中に置かれていた「脱炭素推進室」は、4月1日から独立した課となりました。課の名称はこれまでと同じ「脱炭素推進室」です。

☎ 75-5023

関川村ゼロカーボン
WEBサイト



春の人事異動

*敬称略

村職員

【特別職】

▽副村長 角 幸治

▽教育長 佐藤 修一
(3月31日付)

▽教育長 津野 庄一郎
(4月1日付)

【新任】

▽教育長 渡邊 紗玖良
(4月2日付)

▽教育長 大沼 明
(4月1日付)

▽教育長 川鍋 かやの
(4月1日付)

▽教育長 磯部 恭
(4月1日付)

▽教育長 阿部 慎平
(4月1日付)

▽教育長 長 眞砂勝
(4月1日付)

▽教育長 建設水道班
(4月1日付)

▽主任 横山 迪子
(総務課総務班)

▽政策監 野本 誠
(4月1日付)

▽政策監 野本 誠
(兼)総務課長

【総務課】

▽主事補 渡邊 紗玖良
(新採用)

▽主事 川鍋 かやの
(再任用)

▽主事 磯部 恭
(再任用)

▽主事 阿部 慎平
(再任用)

▽主事 長 眞砂勝
(再任用)

▽主事 建設水道班
(再任用)

▽主事 建設水道班
(再任用)

【住民税務課】

▽主幹 小池 由美子
(再任用)

▽主幹 佐藤 充代
(再任用)

▽主幹 松本 久美子
(再任用)

▽主幹 須貝 佳苗
(再任用)

▽副主幹・社会福祉士 宮下 美知子

▽副主幹・社会福祉士 高橋 沙和
(再任用)

健康福祉課

▽主幹保健師 島津 心

▽主幹保健師 島津 心
(健康推進班)

▽調理師 山口 明美
(再任用)

▽副調理師 山口 明美
(再任用)

新教育長に

津野 庄一郎さん 就任

4月2日付けで津野庄一郎さん（下関、63歳）が新しい教育長に任命されます。

佐藤修一教育長が令和6年4月1日で任期満了を迎えて退任。その後任として任命されるもので、任期は令和6年4月2日から令和9年4月1日までの3年間です。

教育長就任の御挨拶

「人生最後の仕事は、ふるさとのために力を尽くすこと」これが私の初志です。平成の大合併にくみせず、村を存続・発展させることを決断した村民の誇りを受け止め、「六・三・三制」教育発祥の名に恥じぬよう、精一杯努力いたします。



昭和42年8月28日の羽越水害では、当時私は小学1年生。すべてが流され、ノートや鉛筆も救援物資で賄いました。それでも私たちが元気よく学校に通えたのは、村民が汗水流して学校を守り、土を耕し、美しい自然を守ってくれたからです。

子どもの数が減少し、学校の統廃合が進んで教育環境も大きく変わりました。しかし、ふるさとを愛し、世のため人のために力を合わせ、たくましく生きる子どもを育てるといふ教育の使命は不変です。皆さまよろしくお願ひ申し上げます。

特別職給料、議員報酬を引き上げ

令和6年度から、特別職給料と議員報酬を引き上げます。

特別職報酬等審議会（村内の公共団体の代表者などで構成）に審議をお願いしたところ、他団体と比較すると低額であることから引き上げるべきとの答申を受けました。昨年度も、今回と同様の答申を受けていました。

これを受けて、3月定例議会に諮り、条例改正が承認されたため、4月から改定するものです。

（月額 単位：円）

	改定前	改定後	引上額
村 長	630,000	650,000	20,000
副村長	520,000	536,000	16,000
教育長	480,000	495,000	15,000
議 長	255,000	263,000	8,000
副議長	188,000	194,000	6,000
常任委員長	178,000	184,000	6,000
議会運営委員長	178,000	184,000	6,000
議 員	168,000	174,000	6,000

■関川中学校

【転出】

▽教諭 白澤 直子

（村上市村上東中学校）

▽教諭 相馬 奈穂子

（村上市荒川中学校）

▽教諭 神田 純平

（県立東新潟特別支援学校）

▽教諭 新井田和斗

（長岡市西中学校）

【転入】

▽教諭 富樫 洋

（村上市神林中学校）

▽教諭 國井 郷史

（村上市村上東中学校）

▽教諭 高沢 諒介

（長岡市旭岡中学校）

【新採用】

▽教諭 長谷川 景

その他の官公署

※（）内は前任地または新任地

■村上市消防本部関川分署

【転出】

▽副分署長 小川 智志

（第二防災安全室係長）

▽消防副士長 平田 圭佑

（警防課消防副士長）

【転入】

▽副分署長 海沼 博

（予防課危険物係長）

▽消防副士長 白井 宏幸

（荒川分署）

■村上警察署下関交番

【転出】

▽所長

警部補 高橋 英司

（阿賀野署）

【転入】

▽所長

警部補 小松 真市

（新潟東署）



脱炭素 地域間連携協定を締結 千葉県匝瑳市と

2月27日、村と千葉県匝瑳（そうさ）市は、再生可能エネルギーの活用を通じた取り組みで連携を図り、脱炭素社会実現と地域の活性化を図ることを目的に、連携協定を結びました。

匝瑳市も環境省の脱炭素先行地域に選定されていて、今後この協定締結により、匝瑳市における「営農ソーラーシェアリング」技術を村で導入するための連携を行うほか、村で行う「小型風力発電事業」などの電源開発に関して情報共有や共同実証を行い、温室効果ガス排出抑制に連携して取り組むことにしています。



CO₂削減に向けて 電気自動車を導入

村内全体でCO₂削減の取り組みを進めるため、村の公用車に電気自動車を1台導入しました。

今後は、脱炭素推進センターに設置した太陽光パネルからの電力で、充電を行う計画です。

角 幸治 副村長 佐藤 修一 教育長 退任

退任の御挨拶

副村長の角 幸治さんが3月31日付けで、教育長の佐藤修一さんが4月1日付けでそれぞれ退任されました。

退任にあたり、村民の皆さんへのメッセージをいただきました。



佐藤
修一
さん

3期9年間、務めさせていただきました。

この間、「ふるさと関川を愛し、誇り、発展させるひとつづくり」を基本理念として、「魅力ある挑戦の場の提供」と「温もりのある教育」に努めてまいりました。

コミュニティスクールや小学校低学年書道科の導入、生きづらさを感じている子どもたちの支援として、教育委員会と健康福祉課が連携して取り組んでいる「子ども・若者支援協議会」、冒険教育としての「関川子どもチャレンジ100」など、村内外の皆様から、多大なるご理解とご協力を頂いたことに、心から感謝申し上げます。

今後も自分の持ち味を生かし、一村民として少しでも子供たちの役に立ちたいと願っています。



角
幸治
さん

このたび、4年の任期途中ではございますが、3月31日をもって副村長を退任し、県に復帰することになりました。

思い起こせば、この3年間は新型コロナウイルスの蔓延、令和4年8月豪雨災害など、村の歴史に残るような激動の時期でした。

それだけに、大したもん蛇祭りを始め、様々なイベントが再開された令和5年度は、村民の皆さまと交流できた、貴重でうれしい経験でした。

在任中の皆さまの温かいご指導、ご厚情に心より感謝申し上げますとともに、県に戻っても関川村の応援団の一人として末永く関わってまいりたいと考えております。

最後になりますが、関川村の更なる発展と村民の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

環境影響評価方法について 説明会を開催

沼地内・風力発電事業で

沼地内・わかぶな高原スキー場跡地に計画が進められている「(仮称)新潟関川風力発電事業」について、事業主体となる東急不動産株式会社が3月5日、事業実施に必要な環境影響調査(環境アセスメント)の具体的な方法についての説明会を開催しました。

会社側の説明では、今後、現地調査を進め、騒音、振動や水質、地形や地質、動植物生態系などに及ぼす影響などの予測と評価を「準備書」として作成します。

また、合わせて設計作業、関係者との協議なども進め、順調に進捗すると2027~28年度から工事を開始し、最短で2030年度から運転を開始する見込みであるとしています。

3歳児 おし歯0本 (ピッカピカ賞)該当者

令和5年12月11日と令和6年3月15日に行われた3歳児健診で、おし歯が1本も無かった子どもたちに「ピッカピカ賞」が贈られました。(順不同)

【令和5年12月11日】

小沢 ^{せいな}成奈ちゃん(小見)
 小山 ^{こうき}煌喜くん(大内渕)
 伊藤 ^{かえで}叶楓くん(下関)
 小山 ^{たかひさ}鷹久くん(荒川台)

【令和6年3月15日】

梶原 ^{ゆな}ゆなちゃん(下関)
 高橋 ^{せいしろう}誠志朗くん(下関)
 平田 ^{ゆうら}結心ちゃん(下関)
 倉澤 ^{いくた}郁太くん(大島)
 川又 ^{たいが}太琥くん(鮎谷)
 駒沢 ^{せい}凄くん(下関)



健康せきかわポイントカード 169人が参加 6人にWチャンス賞

健康づくりの取り組み、健診や健康に関するイベントなどに参加するとポイントがもらえ、6ポイントで好きな景品と交換できる「健康せきかわポイントカード」事業。令和5年5月1日から令和6年2月29日までの間に昨年よりも33人多い169人が参加しました。(男性68人、女性101人)

参加者の中から抽選で「Wチャンス賞」が6人に贈られました。(敬称略)

【越後もち豚ロース肉 500g】

渡邊 雄介(上関)
 大島 文雄(上野新)
 八幡 淳(片貝)

【あらかわ生いたけ特大肉厚 500g】

津野 幸子(下関)
 松田 文吉(下関)
 佐藤 七重(朴坂)

忠 萬幸渡さん

100歳・自治功労表彰

3月9日、忠 萬幸渡さん(上野原)が100歳の誕生日を迎えられました。

今年100歳の誕生日を迎えられる方は、大正13年生まれ。

忠さんには村から、100歳を祝う自治功労表彰状と記念品代が贈られました。

お詫びと訂正

広報せきかわ3月1日号で次のとおり誤りがありました。
お詫びして訂正します。

◇ ◇ ◇ ◇

12ページ、新潟県書き初め大会準特選入賞者の「渡邊 凜」さん。正しくは「渡辺 凜」さんです。

◇ ◇ ◇ ◇

7ページ、保護司の方のお名前の表記が一部誤っていました。正しくは、次のとおりです。

(敬称略)

正 目黒 寿実子(高瀬)
 誤 目黒 寿美子(高瀬)

◇ ◇ ◇

同じく7ページ、100歳を迎えられた伊藤さん。お名前が間違っていました。

大変申し訳ありませんでした。正しいお名前で、再度掲載させていただきます。

伊藤ヨシイさん

100歳の誕生日



伊藤ヨシイさん(下関)が1月25日に100歳の誕生日を迎えられ、加藤村長から賞状と記念品代が贈られました。

伊藤さんは、大正13年生まれ。

「どっこも悪いところは無い。ちゃんとご飯を食べさせてくれる人がいるから。」と家族への感謝の言葉を、元気に話してくださいました。

これからもお元気で!



自分だけの 手づくりソーセージ

親子20組が挑戦

「(羊の腸に)肉を詰めるところが楽しかった。」「パッケージづくりがおもしろかった。」
3月3日、関川村観光協会の主催で開催された「親子でソーセージを作ろう」には、午前午後の部とも各10組、小学生26人が参加しました。会場は村民会館の調理室。
ソーセージ作りの先生は女川ハム工房・ハムおやしこと大島信一さん。



親子で力を合わせ、1本の羊の腸に肉を詰め、好きな大きさにしていきます。ポイルして、最後は自分だけのオリジナルパッケージに入れて封詰め…。
「ホットドックにして食べたい。パンを買って帰る。」
と言っていた子も。
この日の晩御飯、手づくりソーセージのお味は…。

楽しみながら 福祉や健康への理解を ふれあい福祉健康フェア



多くの村民の皆さんに福祉や健康に関する情報を提供し、楽しみながら福祉を学び、福祉活動や健康への理解を深めてもらう…こんな目的で開催している「ふれあい福祉健康フェア」。3月10日、会場となった村民会館アリーナには大勢の皆さんが集まってくださいました。



ステージでは、手話サークル「ひめさゆり」の皆さんによる手話ソングや手話劇「おおきなななぶ」、村上人権擁護委員協議会の皆さんによる人権体操、キッズダンス「ハピネス」の子どもたちのダンスなどが…。
村や村上保健所、福祉関係団体による体験・相談コーナー、物販

・小物、飲食物の販売コーナーなど、たくさんのブースが設けられました。皆さん思い思いにブースをまわり、福祉・健康についての理解を深める機会になりました。

その人らしい生き方を応援

相談しやすい地域づくり

ひきこもりフォーラムを開催

3月10日、関川村ひきこもりフォーラムが「地域みんなでできること」をメインテーマに村民会館大ホールで開催されました。
はじめに、NPO法人新潟ネット代表理事・村山賢さんが「ひきこもりについての基礎知識」と題して講演。新潟大学准教授・中村健さんから「村民の日常生活のお困りごとに関するアンケート」調査結果からみてきたことについてお話していただき、中村准教授のコーディネートで村保健師、社会福祉協議会職員、NPO法人こスタの小澤里美代表



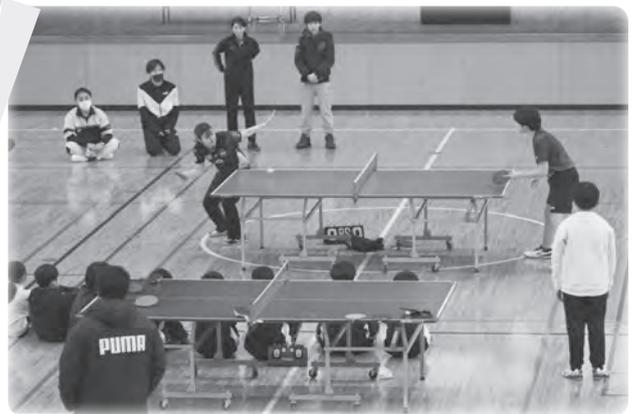
らによるパネルディスカッションが行われました。
村には約50人がひきこもり状態にあるといわれています。地域みんなで、できることから支援していくことが大切です。

チエロと絵本の読み聞かせ

おはなしの会☆スペシャル☆

ほぼ月に1回、村民会館図書室で開かれている「おはなしの会」。3月16日には読み聞かせボランティアグループ「ブルーベリー」のみなさんによる絵本の読み聞かせと、吉田悠亮さんによるチエロの演奏というスペシャルな企画で…。

吉田さんの奏でるチエロの調べに耳を傾け、本の読み聞かせに熱心に聞き入る子どもたち。すばらしい時間を過ごすことができました。おはなしの会は、4月以降も開催することにしていて、「ゴーゴー食堂」でも開催する予定です。開催日時は、村の公式LINE、学校・保育園へのチラシでお知らせします。



やっぱりスゴいわ!!

日本トップレベルから学ぼう せきかわ卓球教室

アバナード株式会社さんの後援で実現した卓球教室。関川中学校や荒川中学校の卓球部員、小学生から70代の方まで、40人余りが参加して3月20日、村民会館アリーナで開かれました。



3位という成績を残している日本トップレベルのお二人です。

お二人は、参加者が練習している卓球台をひとつひとつ周って実技指導。みんなを集めてドライブのかけ方などの実演や、最後には参加者とのエキシビジョンマッチ（ミニゲーム）も行いました。

また、枝廣さんの放つ鋭いサーブを参加者が受けるという体験も…。「教えてもらって、球が入るようになった。」

「トップレベルの人は、やっぱりスゴいわ!!」…参加者の感想です。こんな機会はないこと。参加された皆さんにとって、とても貴重な体験になりました。

講師としてお越しいただいたのは、内山京子さん（写真・右）と枝廣愛さん（写真・左）。内山さんは、1988年ソウルオリンピックに出場、1989年世界卓球選手権大会シングルスベスト8。枝廣さんは中央大学在学、Tリーグ京都カグライズ所属、2022年全日本学生ダブルス第

書き初め大会 準特選
受賞作品

新潟県書き初め大会で準特選を受賞した関川小学校の皆さんの作品を紹介します。※学年は受賞時。

河内 晴翔さん（1年・下関）



伊藤 環さん（3年・久保）



近 日瑚さん（3年・高田）



渡辺 凛さん（4年・大島）



伊藤 美結さん（5年・中束）



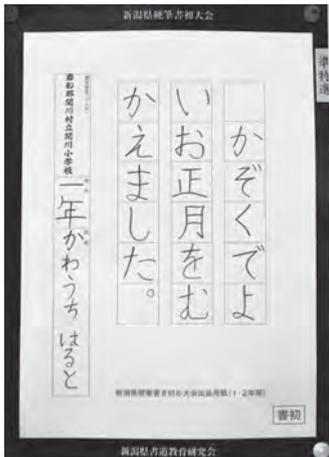
渡邊 梨央菜さん（6年・高田）



横山 愛真さん（6年・勝蔵）



河内 晴翔さん（1年・下関）



硬筆書き初め

学校田で収穫したもち米
販売収益を

能登半島地震の被災地へ

関川中学校では1年生が学校田でもち米を育て、収穫し、保護者や地域で販売しています。

その収益金から諸経費を差し引いた全額を、能登半島地震の義援金として村社会福祉協議会を通じて被災地に届けることにしました。

3月21日、新書記局の1年生の代表が社会福祉センターを訪れ、現金151,509円ともち米の現物30kg近くを高橋会長に手渡しました。

一昨年の水害では、全国の方から温かいご支援をいただきました。少しでもその恩返しできれば…との思いから、義援金を贈ることにしたそうです。

また、もち米の現物は、ゴーゴー食堂などで活用するということです。



今日は関川中学校からの紹介

関川プライドの継承と新たな挑戦

【小中連携人権教育講演会】

2月20日(火)、小学5・6年生と中学生を対象に、新潟産業大学特任教授の蓮池薫様から「拉致で失ったもの～夢と絆～」と題して、拉致問題についてご講演をいただきました。蓮池様の実体験にもとづく貴重なお話、そしてテレビや新聞で見聞きするのはまた違う、生々しく、そして壮絶なお話に改めて拉致問題について深く考えさせられるご講演でした。

子どもたちは講演を聴いて「拉致問題は過去の事件ではなく、今起こっている問題である」ことに気づき、「この問題を風化させてはいけない」と自分事としてとらえることができているようです。



【第19回卒業証書授与式】

3月5日(火)に、第19回卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりに来場制限等のない開催となりました。そのため、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様から参列をいただき、卒業生38名の門出を盛大に祝うことができました。

式のあとは、玄関前で友だちや家族と写真を撮り合うなどし、中学校最後の思い出を記録に残していました。卒業生には、これからも関川プライドを心に、自分の可能性を広げるチャレンジを続けていってほしいです。応援しています。



それぞれの巣立ちのとき

関川中学校 関川小学校で卒業式



関川中学校の卒業証書授与式は3月5日に挙行。38人が卒業しました。第19回となる今年の卒業生の中には1,000人目となる「第1000号」の生徒が…。

一連の式が終了した後、在校生によるはなむけの合唱「はばたこう明日へ」、卒業生による羽ばたきの合唱「遙か」でお互いにエールを送り、学び舎を巣立ちました。



関川小学校の卒業証書授与式は、時折、雪交じりの冷たい雨が降る3月22日に行われました。卒業生は37人。

卒業生が入場するときや須貝学校長から一人ひとりに卒業証書が手渡されるシーン、卒業合唱「旅立ちの日に」を歌い、さらに退場するときなど、大勢の保護者がスマホでわが子の姿を動画撮影していたのが印象に残ります。

糖尿病を食事で予防しましょう

坂町病院 管理栄養士 齋藤 有紀

糖尿病は身近な病気のひとつです。

健康診断や人間ドックで「血糖が高めです」とか「HbA1c（ヘモグロビン・エー・ワン・シー）が高めです」と言われたことがある方も多いのではないのでしょうか。

血糖は血糖値のことです。糖尿病の指標として使われま

す。HbA1c（ヘモグロビン・エー・ワン・シー）は糖尿病の指標のひとつで、過去2か月の血糖値を反映します。

糖尿病の予防には、食事の自己管理が大切です。

食べ過ぎない、お酒を飲みすぎないことはもちろんですが、食事を食べた時に血糖値が上がりにくい食べ方を心がけてください。

○腹八分目を心がけましょう。慢性的な食べ過ぎは、糖尿病につながりやすくなります。お腹いっぱいまで食べないよう気を付けてください。

○ゆっくり食べるようにしましょう。

早食いは食べすぎの原因になります。また、急激な血糖値の上昇をまねき、すい臓に負担をかけます。よく噛むことを意識して、ゆっくり食べるようにしましょう。

なお、体調に不安がある時は早めに受診し、医師に相談することをおすすめします。

*このコーナーへのお問い合わせは、**県立坂町病院**へ。
☎62-3111



関川村包括支援センター通信 106
地域包括支援センター 役場庁舎内1階 ☎64-11473

関川村高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

令和6年4月から令和8年度まで、3年1期の「関川村

高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」がスタートします。高齢者福祉計画は、老人福祉法に基づき、老人福祉事業の量の目標及び事業の量の確保の方策を定める計画です。介護保険事業計画は、介護保険法に基づき、介護給付等や地域支援事業の種類や量、費用額を見込み介護保険料等を定めるものです。本村では2つの計画を一体的に策定し、高齢者に関する基本的な目標を設定するとともに、その実現に向けて取り組むべき施策全般を盛り込んでいます。

策定にあたり、各種実態調査を実施し、関川村介護保険

運営協議会で意見を集約するとともに関係機関と連携を図りました。また、関川村総合計画を上位計画として整合を図るとともに、他の関連計画との調和を図り策定していま

す。第9期の基本理念は、「住み慣れた地域で支えあい、自分らしく暮らす」と掲げ、高齢者の経験豊かな知恵や技術を大切にしながら、村民同士や地域がつながり、みんなで支えあい、地域共生社会の実現を目指していきます。

第9期の介護保険料の基準月額額は6500円とさせていただきます。これからも介護予防の推進と社会参加の促進、高齢者の生活を支える事業の充実、介護保険制度の安定的な運営を目標に取り組んでいきます。

住み慣れた地域で
支えあい
自分らしく暮らす



令和6年4月から内容を充実します！

- ① 停車場 2か所追加
- ② 運行日 地区ごとに週2日→週3日に増
- ③ 坂町便 午後に1便増

運行曜日 <small>(祝日と年末年始を除く)</small>	月・木	下関・四ケ字・霧出 湯沢・川北・女川
	火・金	上関・七ケ谷・九ケ谷
	水	全地区

下関の 停車場	関川診療所、佐藤内科小児科医院、せきかわ調剤薬局、関川ファミリー歯科阿部医院、松村歯科、コメリハード&グリーン関川店
坂町の 停車場	原信、アコス、荒川中央クリニック、あらかわ歯科クリニック、佐野医院、上田眼科、県立坂町病院

時刻表	便	村内便				坂町便				
		行き(下関行)		帰り(自宅行)		行き(坂町行)		帰り(自宅行)		
		自宅発	下関着	下関発	自宅着	乗継場所発	坂町着	坂町発	乗継場所着	自宅着
1便	8:30	9:00	9:30	10:00	9:10	9:30	9:30	9:50	10:30	
2便	10:00	10:30	10:30	11:00						
3便	11:00	11:30	11:30	12:00	11:40	12:00	12:00	12:20	13:00	
4便	12:00	12:30	12:30	13:00						
5便	13:00	13:30	14:00	14:30						
6便	14:30	15:00			15:10	15:30	15:30	15:50	16:30	
7便	15:00	15:30	15:30	16:00						
8便	16:00	16:30								

【片道料金】 村内便：回数券1枚(300円相当)
坂町便：回数券2枚(600円相当)

※現金の場合は、村内便500円、坂町便1,000円
・障害者手帳をお持ちの方のその同伴者、小学生は半額

【問い合わせ先】

役場 地域政策課 地域振興班 ☎64-1478

【予約先】
荒川タクシー ☎64-1042
(前日18時まで要予約)

- ・利用日、便、氏名、世帯主名、住所、降りる場所、帰り便の利用の有無をお伝えください。

吉田 美香さん 地域おこし協力隊を卒業 旧・斎藤医院で「ぽっかりパン」

4月からは「ぽっかりパン」という店名でこだわりのパンやお菓子を、下関にある「旧斎藤医院」にて販売します。主にお隣の山形県産小麦を使い、手作りの長時間発酵パンを提供します。また新潟県第一号の労働者協同組合である「パンプアップせきかわ」のメンバーの一人として村内外へ村のPR活動も続けていきます。これまで私を支えてくださった地元の皆様、本当にありがとうございました。

今年3月を以って地域おこし協力隊を卒業することになりました吉田美香です。これまで関川村の農産物を使った商品の開発等に取り組んできました。たくさんの方のお力添えで自分自身も成長でき、大変内容の濃い3年間を過ごすことができました。関川村が大好きになりましたし、移住して良かったなと感じております。地元の方々は皆さん温かく、いつも助けてくださいました。卒業後も、私を迎え入れてくれた大好きな関川村で、地域を盛り上げるお手伝いを続けていきたいです。





レデイ：プル！！

一本の綱に熱い思いを込めて

村民ふれあい綱引き大会

2月25日、第11回村民ふれあい綱引き大会が村民会館アリーナを会場に開催。関川村綱引き連盟の主催。

今年の大会には一般の部に6チーム、小学生の部に4チームが参加。それぞれ参加チーム総当たり、一本引きによるリーグ戦で戦いました。成績は次のとおりです。

【一般の部】

- ① 川北和楽 (5勝0敗)
 - ② レッドブル九ヶ谷 (4勝1敗)
 - ③ 女川ブルマンズ (3勝2敗)
 - ④ 下関B (2勝3敗)
 - ⑤ ゴールドベアーズ (1勝4敗)
 - ⑥ 下関A (0勝5敗)
- 【小学生の部】
- ① 関川村柔道教室 (3勝0敗)
 - ② タツマキせんぶうきやく (2勝1敗)
 - ③ 関川ジュニアバレーボールクラブ (1勝2敗)
 - ④ スポ少ソフトテニス (0勝3敗)



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは教育課へ
TEL 64-1491

5チームのリーグ戦で...

村長杯6人制男女混合バレーボール大会

3月17日に開かれた第50回村長杯男女混合6人制バレーボール大会。5チームが参加し、リーグ戦で優勝を争いました。

主催は教育委員会、主管・運営は関川村バレーボール協会。

15点先取、2セットマッチ

で熱戦を繰り広げた結果は、

- ① まそつぶ
 - ② チームS、Q、D
 - ③ 役場VBC
 - ④ きりでちゃん
 - ⑤ ハイブリッド・クロスオーバー
- ※3位と4位は得失点差による



安政六年 小見村の定免願

「歴史とみちの館」所蔵・平田家文書を読む

（村歴史文化財調査委員 渡辺 伸栄）

ゴマの油と百姓は絞れば絞るほど出るものなり、などと江戸時代の年貢の過酷さが言われてきました。実際はどうだったのでしょうか。安政六（二八五九）年の小見村の定免願の文書写真を見てみましょう。

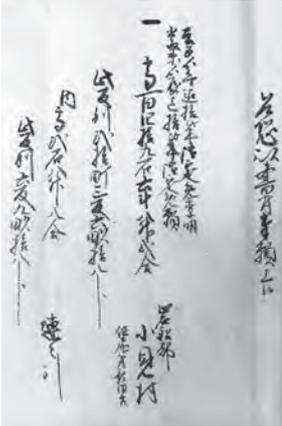
石余で、その年貢は四十一石余（三十八%）。畑の生産高は三十六石余で、年貢は十一石余（三十一%）。畑の作物は野菜等ですが、税は米に換算します。

江戸時代の当初は、その年の作況を見て年貢を決めていましたが、毎年では面倒だったので。期間を決めて豊作不作を平均した定額制が一般的になっていました。

十年前の定免願も残っていて、生産高も年貢も全く同じ数字です。江戸時代の年貢は五公五民や四公六民などといわれますが、それよりも低くなっています。

安政五年でそれまでの十年間の定免期間が終わったので、新たに十年間の定免を代官所に願ひ出たのがこの文書です。小見村の生産高は田が百十

しかし、代官所も中々渋く、期間更新の度に増税があり、十年前は米三合の増税だったようです。今回も増税の要請があり、それに対して小見村はこんなふうに答えています。私たちの村は元来やせ地で作物は良くないのに、これまで期間延長の度に増税に依りてきて、土地の質不相応に高い税になっていま



す。だから、今回は前回と同額でお願いしたいのですが、どうしてもというので、



難儀なのだけれども仕方がない。米七合の増税ということ、勘弁していただきたい。

勘弁という言葉には、よくよく考えてほしい、やめてほしいという意味があります。プラス何合かで攻防があつて、結局、前回の三合にプラス四合の七合で村側が渋々折れた。そんな状況が読み取れます。

わずか四合。絞り取るとは、このことを言ったのでしょうか。これまで言われてきた過酷というのは、どうも少し印象が違ふような気がします。以上は基本税の田畑年貢の話です。ほかにも細々とした税がありました。それは次回

（原文と解説は歴史館に展示、又は、下のQRから）



図書室の窓から

村民会館図書室

4月は、わくわくとドキドキが入り混じったちょっと忙しい月でもあるにや。そんな時こそ本を片手にゆったりと「自分時間」を作ってみてほしいのにや。



おすすめ

『元・繊細っ子だからわかる 子どもが10倍うれしい親のひとこと』 てつ 著
学校、どうだった？友達たくさんできた？ 一見我が子を思ひやったこの言葉、実はちょっと残念なひとことなのです。つい言ってしまう、あるあるなひとことを、これならうれしいひとことに、今日から変えよう！



これ、よんで！

『オニのサラリーマン じごくのしんにゅうしゃいん』 大島 妙子 作
人間の世も鬼の世も社員不足はみな同じ...ということ、"じごく"が若い力を大募集。めでたく3匹の鬼を新入社員に迎えた"じごく"の一日を、テンポの良い大阪弁の文章でユーモアたっぷりに描きます。



今月の図書館バス

13日（土）、28日（日）

虹色と、汽車のメロディーが目印です♪



読み聞かせボランティアによる おはなしの会

～絵本の読み聞かせでしあわせ時間～

ブルーベリーのみなさんが贈る、ステキなおはなしの世界。

◎参加費無料です

今年度は「ゴーゴー食堂」でも開催予定ですのでお楽しみに！

※開催日時は、村の公式LINE、学校・保育園へチラシでお知らせします。



毎週水曜日がお休みです。平日13時～17時15分まで、土・日・祝9時～17時まで開館しています。



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

◆ 関川での活動がありました！

2月2日から6日「七ヶ谷雪ほたる祭り」、2月9日から12日には「おおいし・どもんこ祭り」の活性化活動のために、IVUSAは関川村を訪れました！大変お世話になりました。
今回は、「おおいし・どもんこ祭り」に参加した学生3名にインタビューをしました。

◆ 質問項目

- ① 名前・大学・学年
 - ② 活動に参加して楽しかったこと・印象に残ったこと
 - ③ 関川のみなさんに向けてメッセージ！
- ① 永田 雄也（ながたゆうや）
駒澤大学2年
- ② 大雪の中の作業になったけれど、学生と村民の方が力を合



① 森本 奈美（もりもと なみ）
日本大学2年

③ 孫のように可愛がっていただきありがとうございます！また会える日を楽しみにしています！

わけて巨大かまくらを無事に作り上げたこと！



② とても大きなどもんこを村民の方と一緒に作り上げられたこと。

③ 私は今回関川村に初めてお邪魔したのですが、とても温かく素敵な村だなんて思いました！



① 上妻 あや（こうづま あや）
東京家政大学3年

数年ぶりのどもんこまつりに関わらせていただき光栄です。ありがとうございます！！また皆さんとお会いできることを楽しみにしています！！

② 村の方と一緒に中華丼とカレーを作ったことが印象に残っています。調理をしながら関川村のことを教えていただいたり、村の方から頂いた椎茸や沢庵を食べたりと、心でも体でも関川村を堪能することができました！

③ 私は今回初めて関川村に訪れたのですが、関川村の広大な自然と村民の方の温かさにつきり虜になってしまいました。また来年、次はもっと成長した自分で「ただいま」を言いたいです！

「春の七里そば」開催のお知らせ

今年も七ヶ谷産の蕎麦を堪能するイベントを次のとおり開催いたします。
予約制となりますので、ご希望の方は申し込み方法によりご予約ください。

- と き 4月27日 土曜日（七ヶ谷地域限定予約）
4月28日 日曜日（一般予約）
4月29日 月曜日※祝日（一般予約）
- と ころ 安角ふれあい自然の家（旧安角小学校）
- メニュー 天ざるそばセット 1,200円
ざるそばセット 1,000円
※大盛 100円増
- 申込方法 電話予約 090-1432-4873（加藤）
都合により、予約対応できない場合はご容赦ください。
- 予約内容 ①予約日と時間 ②名前/連絡先 ③人数と注文メニュー
- 予約開始 4月15日 月曜日から
- 受付時間 午前9時から午後5時まで



[問い合わせ]



七ヶ谷いきいき笑顔プロジェクト
谷人倶楽部
090-1432-4873(加藤)

▶こちらは有料広告です

戸籍の窓

● 2月16日～3月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

信ちゃん(男) 下 関
駒沢 和也・麻子 さん
りつ き 稀ちゃん(男) 南 中
鈴木 一樹・真奈美さん

すえながくお幸せに

{ 佐藤 朋典 さん 安 角
(山 室) 華 さん (新潟市)

ごめい福をお祈りいたします

須貝 正吉 さん	96歳	上 関
佐藤 敏子 さん	89歳	上 野
本間 忠 さん	93歳	大 島
渡邊 與作 さん	70歳	上 関
五十嵐芳右 さん	90歳	上 関
和田 鉄雄 さん	80歳	勝 蔵

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

令和6年2月末現在 ()は前月対比

世帯数	1,831世帯 (-4)
総人口	4,801人 (-18)
男	2,325人 (-6)
女	2,476人 (-12)

(転入 1人 転出 11人)
(出生 1人 死亡 9人)

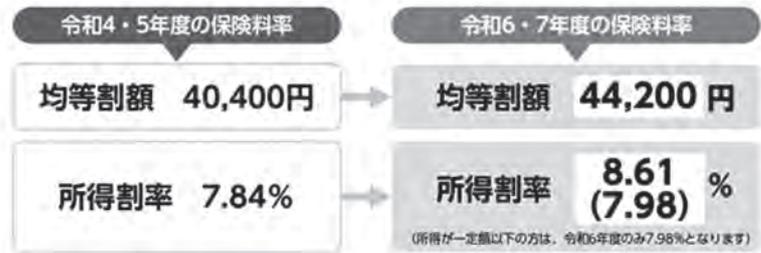
編集室から

▶ 1月=行く、2月=逃げる、3月=去る…。あっという間に4月を迎えました
▶ 学校に通っていたころ、そして職に就いてからは、正月よりも年度初めの4月の方が新しい年の始まりという感じがします▶ 広報せきかわの編集、もうしばらく続けさせてもらうことになりました。気持ちを新たに、取り組んでいきたいと思っています。(Mako.)

令和6年4月から保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率については、法律に基づき、2年に一度見直しを行うこととなっています。

今後、被保険者数や医療給付費が増加する見込みであるほか、現役世代の負担増を抑制するための国の制度改正により、令和6年度に保険料率の引き上げを行います。こう高齢者医療制度の持続性を高め、被保険者の皆様に安心して医療を受けていただくため、ご理解をお願いします。



■保険料の決まり方(年額)

保険料は、被保険者が等しく負担する「均等割額」と被保険者の所得に応じて負担する「所得割額」の合計です。前年中の総所得金額等や世帯の所得状況により、個人単位で賦課します。

令和6年度の保険料額と納付方法については、7月中旬にお住いの市町村からお知らせします。

$$\begin{array}{|l} \text{年間保険料額} \\ \text{(限度額73万円} \\ \text{または80万円)} \end{array} = \begin{array}{|l} \text{均等割額} \\ \text{1人当たり} \\ \text{44,200円} \end{array} + \begin{array}{|l} \text{所得割額} \\ \text{(前年中の総所得金額等} \\ \text{- 基礎控除額)} \end{array} \times \begin{array}{|l} \text{所得割率} \\ \text{8.61\%} \\ \text{(7.98\%)} \end{array}$$

※1 令和6年度に限度額が66万円に引き上げられます。昭和24年3月31日以前に生まれた方等は73万円、昭和24年4月1日以降に生まれた方等は80万円となります。

※2 所得状況によって、均等割額の軽減が受けられる場合があります。

※3 所得が一定額以下の場合は、令和6年度のみ7.98%となります。

『こちらの内容に関するお問い合わせ先』

新潟県後期高齢者医療広域連合 業務課 資格保険料係

☎ 025-285-3222

関川村役場 健康福祉課 福祉保険班

☎ 0254-64-1472

『広報せきかわ』を送りませんか

村を離れて遠くに暮らす家族の方や友人、親戚へ「広報せきかわ」を送りませんか？

年間購読料2,000円をお支払いいただければ、毎月郵送で広報をお届けします。

随時受け付けていますので、申し込みを希望される方は次のところまでご連絡ください。

役場 総務課総務班 ☎ 64-1476

卒業式スナップ

【関川中学校】



在校生によるはなむけの合唱
「はばたこう明日へ」



卒業生によるはばたきの合唱
「遙か」

【関川小学校】



卒業合唱「旅立ちの日に」



式を終えて…

キラリ輝く☆せきかわっ子たち vol.134

新潟県教育アート展で優秀賞を受賞した関川小学校
3年生・五十嵐桃花さん(湯沢)の作品、せっかくです
のでカラーで紹介します。

タイトルは「にじをはしる車」です。



わが家の 人気者

しょうた
翔大くん(6歳)

石山 真太郎さん 笑美さん(下川口)



石山家のムードメーカーの心優しい一人息子、いつも大人たちを笑顔にしてくれています。小さかった彼も、この春からピカピカの一年生。大好きなことをぐんと伸ばし、お友達ともたくさん遊び、毎日楽しくのびのびできますように！いつもありがとう。